

# 地場企業の経営動向調査

(平成21年度 第3・四半期)

平成22年2月5日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,430社（構成比率95.3%）、大企業70社（構成比率4.7%）により構成されている。

回答した企業数は 677社、回答率 45.1%となっており、回答企業の内訳は、中小企業639社（構成比率94.4%）、大企業38社（構成比率5.6%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成21年10～12月期の実績、及び平成22年1～3月期の予想について、平成21年12月末時点で調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成21年度 第3・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	677	45.1%	
中小企業	1,430	639	44.7%	94.4%
大企業	70	38	54.3%	5.6%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	677	45.1%	
建設業	241	149	61.8%	22.0%
土木建設業	84	55	65.5%	8.1%
建設付帯工事業	81	45	55.6%	6.6%
電気・管工事業	76	49	64.5%	7.2%
製造業	170	93	54.7%	13.7%
食料品製造業	45	23	51.1%	3.4%
繊維製品製造業	12	8	66.7%	1.2%
建材・木・紙製品製造業	9	6	66.7%	0.9%
印刷・製本業	28	12	42.9%	1.8%
窯業・土石製品製造業	5	2	40.0%	0.3%
金属製品製造業	18	10	55.6%	1.5%
一般機械器具製造業	18	11	61.1%	1.6%
電気機械器具製造業	9	4	44.4%	0.6%
その他製造業	26	17	65.4%	2.5%
卸売業	204	109	53.4%	16.1%
食料品卸売業	49	24	49.0%	3.5%
繊維製品卸売業	19	10	52.6%	1.5%
建材・住宅機器卸売業	29	17	58.6%	2.5%
金属・鋼材卸売業	1	1	100.0%	0.1%
一般機械器具卸売業	34	18	52.9%	2.7%
電気機械器具卸売業	2	2	100.0%	0.3%
石油・化学製品卸売業	4	2	50.0%	0.3%
その他卸売業	66	35	53.0%	5.2%
小売業	243	79	32.5%	11.7%
食料品小売業	62	11	17.7%	1.6%
衣料品・身の回り品卸売業	39	13	33.3%	1.9%
石油・化学製品小売業	1	1	100.0%	0.1%
車両運搬具小売業	19	5	26.3%	0.7%
家電・厨房器具小売業	8	2	25.0%	0.3%
百貨店・セルフ店	11	7	63.6%	1.0%
その他小売業	103	40	38.8%	5.9%
運輸・倉庫業	41	28	68.3%	4.1%
旅客運送業	9	5	55.6%	0.7%
貨物運送・倉庫業	32	23	71.9%	3.4%
サービス業	601	219	36.4%	32.3%
情報処理サービス業	64	29	45.3%	4.3%
その他事務所サービス業	359	140	39.0%	20.7%
ホテル・旅館・飲食業	120	28	23.3%	4.1%
その他の個人サービス業	58	22	37.9%	3.2%

## 「 福商・経営動向調査 」 調査結果

### 景況概況（DI 値の動き）

1. 自社業況は、今期▲54.4となり、前期との比較ではプラス2.9ポイントと3期連続の改善となった。  
業種別に対前期比をみると、全産業中、運輸・倉庫業が-20.9ポイント（前期DI値▲54.1）、サービス業-4.9ポイント（同▲54.9）、小売業-0.7ポイント（同▲47.4）と悪化したものの、建設業+16.8ポイント（同▲67.8）、卸売業+9.1ポイント（同▲59.6）、製造業+3.3ポイント（同▲53.9）と改善が見られた。  
次四半期（H22年1～3月）の全業種予測DI値は▲49.6（今期比プラス4.8ポイント）となっており、さらに改善することが予測されているものの依然として低い水準である。
2. 業界の景気動向は、今期▲77.5と前期との比較ではマイナス2.3ポイントと3期ぶりの悪化となった。  
次四半期については▲66.6とプラス10.9ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上額、完成工事高は、今期▲50.0と前期との比較ではプラス0.2ポイントと、僅かではあるものの3期連続の改善となった。  
次四半期については▲44.5とプラス5.5ポイントの改善が予測されている。
4. 原材料、製（商）品仕入価格は、今期▲2.3と前期との比較ではマイナス6.0ポイントで2期ぶりの下落となった。  
次四半期については▲2.5とマイナス0.2ポイントの下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は、今期▲48.0と前期との比較ではプラス1.7ポイントと7期ぶりの改善となった。  
次四半期については▲42.5とプラス5.5ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は、今期▲48.2と前期との比較ではプラス5.0ポイントと3期連続の改善となった。  
次四半期については▲46.4とプラス1.8ポイントの改善が予測されている。
7. 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」58.2%、「得意先開拓・客数の増加」39.2%に集中している。  
一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」78.7%、「客単価の低下」45.2%、「得意先開拓・客数の減少」36.6%、「出荷・販売価格の下落、料金改定」31.6%の順となっている。
8. 当面の経営上の問題点としては、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」66.2%、「受注、販売競争の激化」60.3%、「営業利益の低下」53.8%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。  
他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で22.0%に対し48.3%、「元請の減少」が全業種で9.0%に対し28.9%、また卸売業では「販売代金の回収難、不良債権の増加」が全業種で9.3%に対し26.6%と突出し、非常に高水準となっている。

## 参考指標

日経平均株価	10,546.44 円	(平成 21 年 12 月 30 日 終値)
対米ドル円相場終値	92.46 円	(平成 21 年 12 月 30 日 終値)
対ユーロ円相場終値	132.51 円	(平成 21 年 12 月 30 日 終値)
原油価格 (WTI)	US\$ 79.36/バレル	(平成 21 年 12 月 31 日 終値)

## 景気判断

平成21年12月の月例経済報告（内閣府）では景気の基調判断を「景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」とし、景気は依然として厳しい状況が続いているものの、僅かに回復が見られる。

併せて「輸出は、アジア向けを中心に、増加している。生産は、持ち直している。企業収益は、大幅な減少が続いているが、そのテンポは緩やかになっている。設備投資は、下げ止まりつつあるものの、このところ弱い動きもみられる。企業の業況判断は、依然として厳しい状況にあるものの、全体として持ち直しの動きが続いている。ただし、中小企業では先行きに慎重な見方となっている。雇用情勢は、依然として厳しい。個人消費は、持ち直しの動きが続いている。物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。先行きについては、当面、厳しい雇用情勢が続くとみられるものの、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。一方、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れ懸念、デフレや金融資本市場の変動の影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。」としている。

当所の今四半期（平成21年10～12月）調査において、地場企業の自社業況判断指数（DI値＝前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値）の全業種平均DI値は▲54.4で前期比プラス2.9ポイントと3期連続の改善となった。

### 【DI値の推移】

H18 第4 期	H19 第1 期	H19 第2 期	H19 第3 期	H19 第4 期	H20 第1 期	H20 第2 期	H20 第3 期	H20 第4 期	H21 第1 期	H21 第2 期	H21 第3 期
▲ 16.9	▲ 17.0	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 35.8	▲ 45.2	▲ 46.9	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4

## まとめ

今期の自社業況については、3期連続での改善となった。業種別においては、6業種中3業種で改善がみられた。

DI値は（平成3年度第2・四半期以来）74期連続でマイナス値となった。

全般的には、海外特に中国を中心としたアジア諸国への輸出回復と国内外の経済対策の効果もあって、生産額、売上額、完成工事高DIと営

業利益 DI は共に 3 期連続で改善している。しかし依然として需要の低迷や価格競争が続き、さらにデフレの影響も相俟って回復幅は縮小し、景況感は緩やかな改善に留まっている。

また、資金繰り DI が 4 期ぶりの悪化となったことから金融機関の貸し出しに対する慎重な姿勢が伺え、経営資金の調達が困難化しつつあり、事業者はさらに厳しい経営状況に迫られている。

規模別にみると、調査対象の 9 割以上を占める中小企業の自社業況 DI 値は前期比プラス 2.9 ポイント (DI 値 ▲56.0)、大企業では、自社業況 DI 値が前期比プラス 2.8 ポイント (DI 値 ▲26.4) の改善となった。営業利益 DI については、中小企業ではプラス 5.9 ポイントと改善したのに対し、大企業ではマイナス 6.4 ポイントと悪化となった。

業種別にみると、建設業、卸売業、製造業で改善が見られた。公共工事の前倒し効果に加え、住宅ローン減税拡充など政策効果が徐々に始まってきたことから、建設業は若干の持ち直しが見られた。一方、卸売業、製造業は海外需要による輸出好転に支えられて回復している。しかしながら、来年度予算において公共工事の大幅削減が見込まれており、さらにデフレや円高、雇用状況の悪化もあって先行き不安の広がりを訴える声が聞かれた。

次四半期の予測 DI 値は ▲49.6 となっており、改善 (今期比プラス 4.8 ポイント) が予測されているが依然として低い水準である。また、業種別においては、全産業で改善を予測している。

#### 《 回答企業の主なコメントより (抜粋) 》

- ・ 市場の冷え込みによる民間需要の減少と、「公共事業の見直し」による官公需用の大幅な削減が予測される。受注単価も年々低下し、かなり深刻な状況である。 (建設)
- ・ 円高で海外からの輸入紙の増加に伴い、国内製紙メーカー各社の生産調整が続いています。 (製造)
- ・ デフレ状態のため、値段が下がり商品が売れない。さらに販売代金の回収問題も複数発生。 (卸売)
- ・ 高速道路料金の値下げ等で一時的に需要の回復は見られたが、総体的には前年を下回る状況である。販売競争も激化し、利益も減少している。 (小売)
- ・ タクシー業界全体の需要減少に対応するため、福岡都市圏全社で協調減車 1200 台の実施について話し合われている。しかし、タクシー協会に未加盟の新規事業者 4 社が同調しない可能性もある。 (運輸)
- ・ 金融機関が融資に消極的であるため、資金繰りの為には受注額が激減しても仕事を取らざるを得ない。 (サービス)

# 1. 自社・業界の景況

《自社景況は3期連続改善、次期予測はさらに改善へ》

今四半期（H21年10～12月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は12.7%（前期比+1.9ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は67.1%（前期比-1.0ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は20.1%（前期比-0.5ポイント）となった。DI値は▲54.4（前期DI値▲57.3）となり、前期比で+2.9ポイントと改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、全産業中、今回の調査で運輸・倉庫業が-20.9ポイント（前期DI値▲54.1）、サービス業-4.9ポイント（同▲54.9）、小売業-0.7ポイント（同▲47.4）と悪化したものの、建設業+16.8ポイント（同▲67.8）、卸売業+9.1ポイント（同▲59.6）、製造業+3.3ポイント（同▲53.9）と改善が見られた。

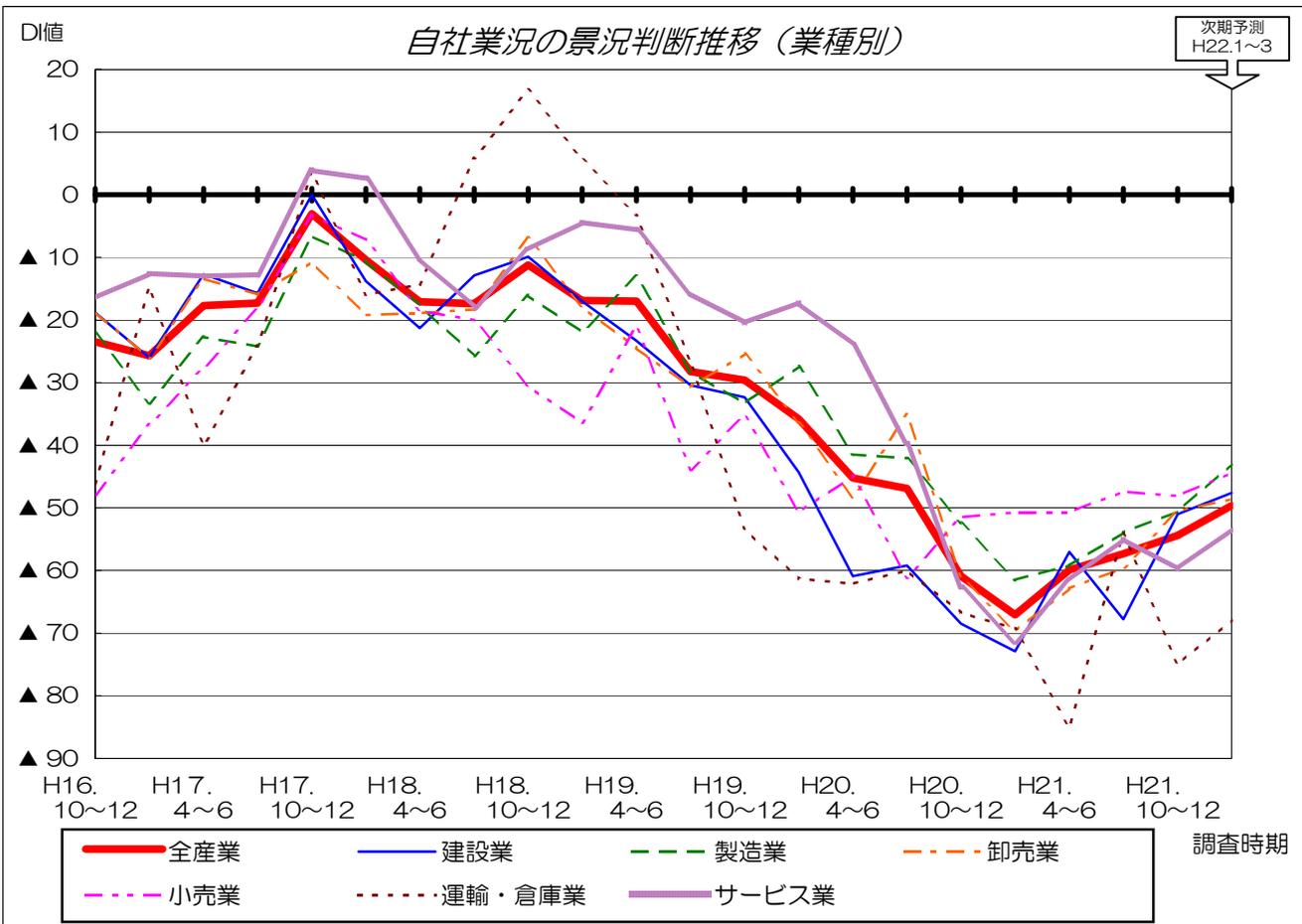
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+2.9ポイント（前期DI値▲58.9）、大企業は+2.8ポイント（同▲29.2）の改善となった。

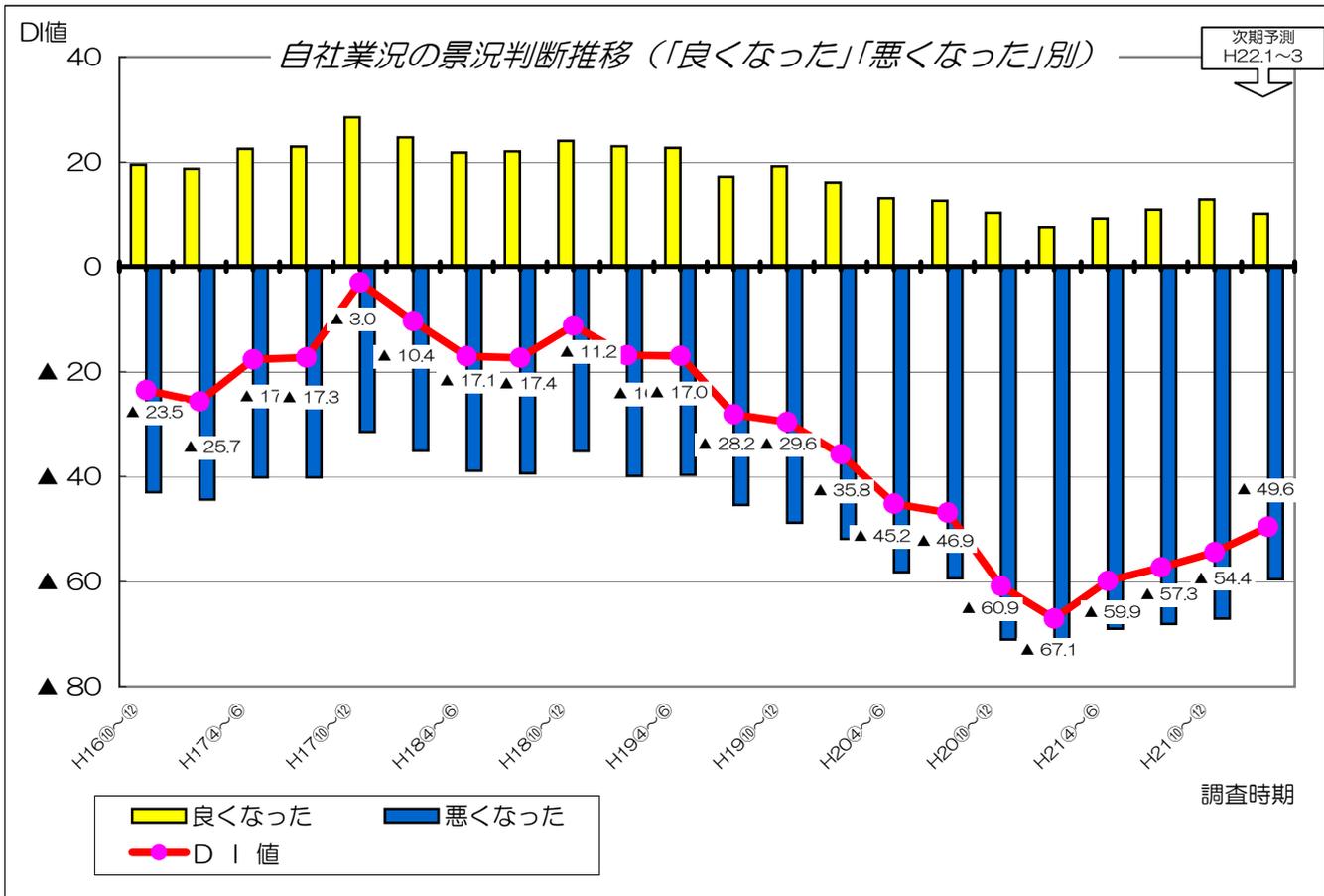
次四半期（H22年1～3月）の全業種予測DI値は▲49.6（今期比+4.8ポイント）となっており、改善が見込まれている。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(21年10～12月期)実績							次四半期(22年1～3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.2	11.5	20.1	42.4	24.7	0.1	▲54.4	0.7	9.3	27.3	41.1	18.5	3.1	▲49.6
建設業	1.3	12.1	22.1	38.9	25.5	0.0	▲51.0	0.7	9.4	30.9	36.9	20.8	1.3	▲47.6
製造業	1.1	16.1	15.1	45.2	22.6	0.0	▲50.6	1.1	10.8	24.7	40.9	14.0	8.6	▲43.0
卸売業	1.8	11.0	23.9	39.4	23.9	0.0	▲50.5	0.9	10.1	29.4	42.2	17.4	0.0	▲48.6
小売業	3.8	15.2	13.9	44.3	22.8	0.0	▲48.1	2.5	13.9	21.5	48.1	12.7	1.3	▲44.4
運輸・倉庫業	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	▲75.0	0.0	0.0	21.4	42.9	25.0	10.7	▲67.9
サービス業	0.0	9.6	20.5	43.4	26.0	0.5	▲59.8	0.0	7.8	27.9	40.6	20.5	3.2	▲53.3
中小企業	1.3	10.5	20.3	42.6	25.2	0.2	▲56.0	0.8	8.6	26.9	41.5	19.1	3.1	▲51.2
大企業	0.0	28.9	15.8	39.5	15.8	0.0	▲26.4	0.0	21.1	34.2	34.2	7.9	2.6	▲21.0





### 業界の景況

《業界景況は3期ぶりの悪化、次期予測は反転改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が3.8%、「悪くなった」と回答した企業割合が81.3%、「横ばい」と回答した企業割合が14.0%となっており、DI値は▲77.5（前期DI値▲75.2）と前期比で-2.3ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+1.6ポイント（前期DI値▲80.1）、小売業+0.8ポイント（同▲65.3）と改善したものの、運輸・倉庫業-23.2ポイント（同▲62.5）、製造業-9.7ポイント（同▲70.9）、卸売業-1.8ポイント（同▲78.0）、サービス業-0.6ポイント（同▲77.5）の悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-3.3ポイント（前期DI値▲75.5）と悪化した一方、大企業は+15.5ポイント（同▲70.7）と改善した。

次四半期予測DI値は▲66.6となっており、今期比+10.9ポイントの改善が予測されている。

《 業界の景気動向（前年同期と比較して） 》

（単位 %）

	今四半期(21年10~12月期)実績							次四半期(22年1~3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.1	3.7	14.0	45.6	35.7	0.7	▲77.5	0.3	2.8	23.3	44.0	25.7	3.8	▲66.6
建設業	0.0	3.4	13.4	43.0	38.9	1.3	▲78.5	0.7	2.0	24.8	38.3	31.5	2.7	▲67.1
製造業	0.0	2.2	15.1	48.4	34.4	0.0	▲80.6	0.0	3.2	21.5	47.3	19.4	8.6	▲63.5
卸売業	0.0	3.7	12.8	48.6	34.9	0.0	▲79.8	0.0	2.8	24.8	47.7	24.8	0.0	▲69.7
小売業	1.3	8.9	15.2	45.6	29.1	0.0	▲64.5	1.3	6.3	19.0	58.2	13.9	1.3	▲64.5
運輸・倉庫業	0.0	0.0	14.3	60.7	25.0	0.0	▲85.7	0.0	0.0	14.3	42.9	32.1	10.7	▲75.0
サービス業	0.0	3.2	14.2	42.9	38.4	1.4	▲78.1	0.0	2.3	25.1	39.7	28.3	4.6	▲65.7
中小企業	0.2	3.0	14.1	45.7	36.3	0.8	▲78.8	0.3	2.2	23.0	44.1	26.6	3.8	▲68.2
大企業	0.0	15.8	13.2	44.7	26.3	0.0	▲55.2	0.0	13.2	28.9	42.1	10.5	5.3	▲39.4

## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《3期連続改善、次期予測はさらに改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は11.7%、「減った」と回答した企業割合は61.7%となっており、DI値は▲50.0（前期DI値▲50.2）と前期比+0.2ポイントの改善となった。

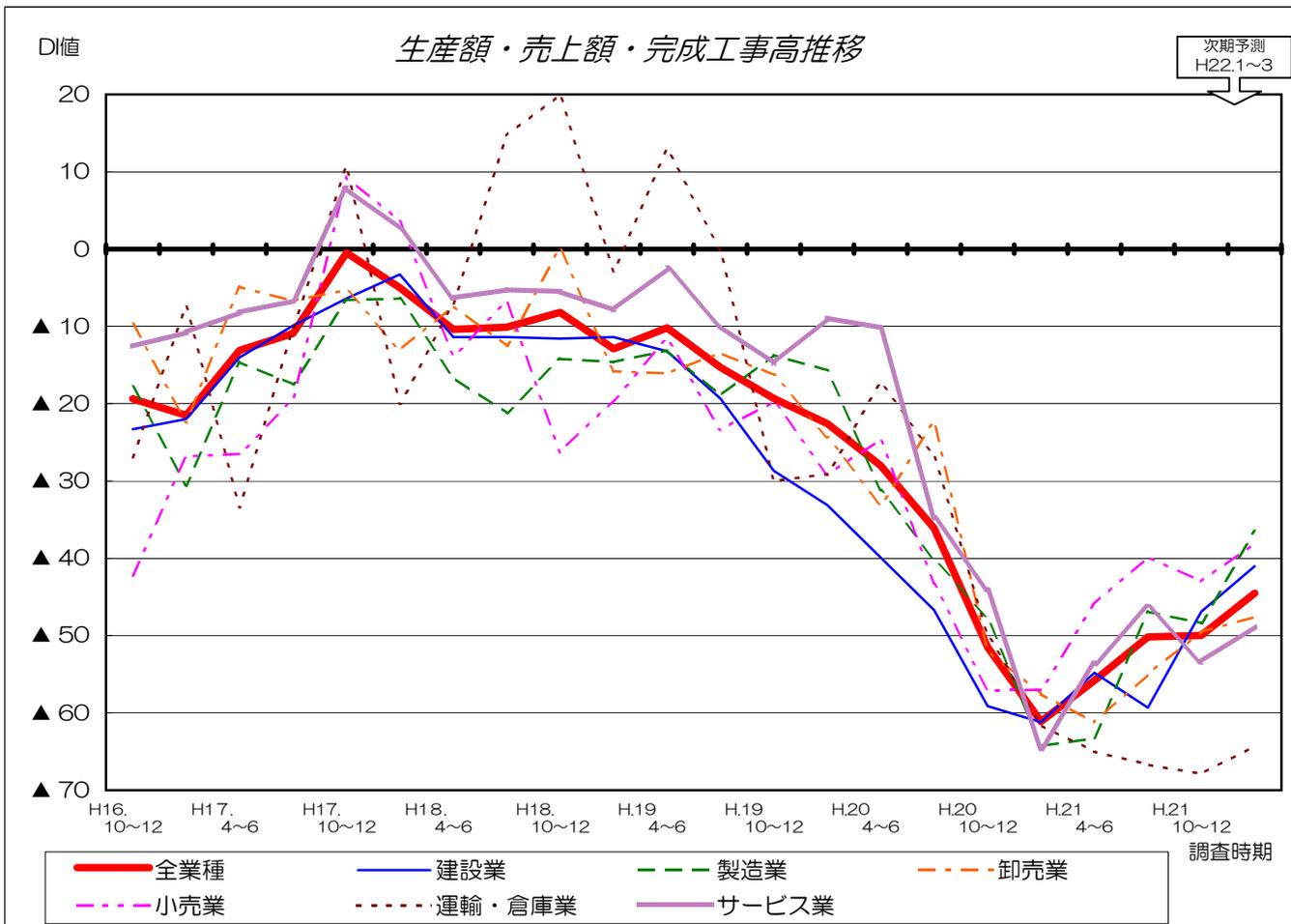
業種別に対前期比でDI値を見ると、サービス業が-7.1ポイント、小売業-3.2ポイント、製造業-1.5ポイント、運輸・倉庫業-1.2ポイントと悪化したものの、建設業+12.4ポイント、卸売業+5.5ポイントの改善となった。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」58.2%、「得意先開拓・客数の増加」39.2%に集中している。一方で、減少した理由としては、「受注、需要の減少」78.7%、「客単価の低下」45.2%、「得意先開拓・客数の減少」36.6%、「出荷・販売価格の下落、料金改定」31.6%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+0.3ポイント（前期DI値▲50.8）と改善した一方、大企業は前期比-0.6ポイント（同▲41.5）と悪化した。

（単位 %）

	今四半期(21年10~12月期)実績							次四半期(22年1~3月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	2.7	9.0	24.1	33.2	28.5	2.5	▲50.0	2.4	6.2	32.3	33.5	19.6	5.9	▲44.5
建設業	2.7	8.1	28.9	30.9	26.8	2.7	▲46.9	2.0	6.7	36.9	28.9	20.8	4.7	▲41.0
製造業	2.2	11.8	19.4	34.4	28.0	4.3	▲48.4	2.2	8.6	29.0	29.0	18.3	12.9	▲36.5
卸売業	2.8	8.3	26.6	31.2	29.4	1.8	▲49.5	2.8	4.6	35.8	38.5	16.5	1.8	▲47.6
小売業	6.3	12.7	15.2	32.9	29.1	3.8	▲43.0	6.3	10.1	24.1	39.2	15.2	5.1	▲38.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	32.1	39.3	28.6	0.0	▲67.9	0.0	0.0	25.0	39.3	25.0	10.7	▲64.3
サービス業	1.8	8.7	23.7	34.7	29.2	1.8	▲53.4	1.4	5.0	32.9	33.3	21.9	5.5	▲48.8
中小企業	2.5	8.6	24.6	32.2	29.4	2.7	▲50.5	2.0	5.9	32.4	32.9	20.7	6.1	▲45.7
大企業	5.3	15.8	15.8	50.0	13.2	0.0	▲42.1	7.9	10.5	31.6	44.7	2.6	2.6	▲28.9



参考資料：（ 2. 生産額、売上額、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位 %）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候条件などの自	増受注又は需要の減少	情道路の変化、交通事	ズは製消（商）品又	金格出荷定上・販、売料価	促売進出等の販売	へ開新製業種の大客得数の先増減拓・	業業者の参入、他同	客得数の先増減拓・	又は単価の下上昇	品取抜製の増減（商）
全業種	6.3	58.2	0.0	6.3	8.9	10.1	11.4	0.0	39.2	13.9	6.3
建設業	0.0	68.8	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	25.0	12.5	0.0
製造業	0.0	69.2	0.0	0.0	15.4	7.7	46.2	0.0	46.2	7.7	7.7
卸売業	8.3	58.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	25.0	8.3	0.0
小売業	13.3	33.3	0.0	20.0	13.3	46.7	0.0	0.0	33.3	26.7	26.7
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	8.7	60.9	0.0	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0	56.5	13.0	0.0
中小企業	4.2	60.6	0.0	4.2	8.5	8.5	11.3	0.0	40.8	12.7	5.6
大企業	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0	25.0	12.5

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取抜製の増減（商）	採算線部門の縮小	工場の立地	変移工場等、店舗の増減	約支店の開設、特	力老設の低下、店競争	又両機械の廃止、買替車	員営業の増減、外	手技の増減、運	又駐は車場の増設	その他
全業種	3.8	3.8	1.3	2.5	0.0	2.5	7.6	3.8	1.3	8.9	1.3
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
製造業	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
卸売業	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
小売業	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	8.7	4.3	0.0	8.7	0.0
中小企業	2.8	4.2	1.4	1.4	0.0	2.8	8.5	4.2	1.4	7.0	1.4
大企業	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位 %）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候条件などの自	増受注又は需要の減少	情道路の変化、交通事	ズは製消（商）品又	金格出荷定上・販、売料価	促売進出等の販売	へ開新製業種の大客得数の先増減拓・	業業者の参入、他同	客得数の先増減拓・	又は単価の下上昇	品取抜製の増減（商）
全業種	6.2	78.7	1.7	17.2	31.6	1.9	0.0	14.8	36.6	45.2	7.7
建設業	3.5	93.0	0.0	8.1	16.3	0.0	0.0	14.0	25.6	39.5	4.7
製造業	1.7	87.9	1.7	15.5	48.3	1.7	0.0	10.3	25.9	34.5	15.5
卸売業	12.1	81.8	1.5	22.7	50.0	4.5	0.0	15.2	36.4	51.5	10.6
小売業	10.2	57.1	4.1	30.6	42.9	2.0	0.0	26.5	44.9	59.2	2.0
運輸・倉庫業	10.5	73.7	10.5	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	36.8	26.3	15.8
サービス業	5.0	72.9	0.7	16.4	22.9	2.1	0.0	12.9	45.0	47.9	5.7
中小企業	6.3	79.4	1.8	17.0	31.5	2.0	0.0	14.5	36.5	44.9	7.9
大企業	4.2	66.7	0.0	20.8	33.3	0.0	0.0	20.8	37.5	50.0	4.2

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取抜製の増減（商）	採算線部門の縮小	工場の立地	変移工場等、店舗の増減	約支店の開設、特	力老設の低下、店競争	又両機械の廃止、買替車	員営業の増減、外	手技の増減、運	又駐は車場の増設	その他
全業種	1.0	2.2	1.0	0.5	4.1	0.7	3.6	2.4	0.0	3.6	1.2
建設業	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	3.5	3.5	0.0	2.3	1.2
製造業	3.4	5.2	1.7	0.0	3.4	3.4	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0
卸売業	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	1.5
小売業	0.0	6.1	2.0	2.0	8.2	0.0	6.1	0.0	0.0	6.1	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	10.5	0.0	5.3	5.3
サービス業	0.7	2.1	0.7	0.0	4.3	0.7	5.0	2.9	0.0	4.3	1.4
中小企業	1.0	2.0	1.0	0.5	4.1	0.8	3.8	2.3	0.0	3.8	1.3
大企業	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0

### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《2期ぶりの下落、次期予測も僅かに下落へ》

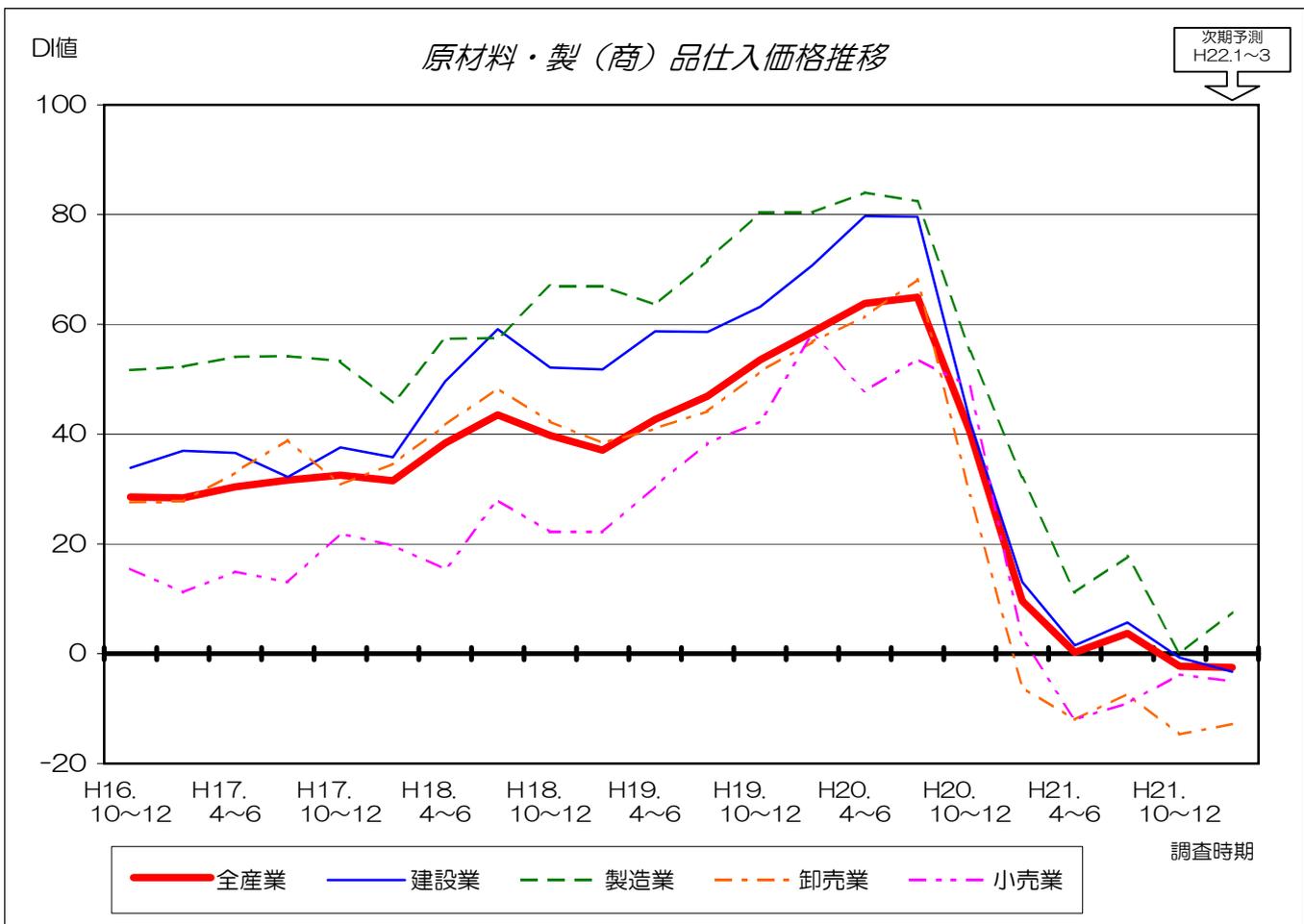
原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は11.4%、「下落」と回答した企業割合は13.7%となっており、DI値は▲2.3（前期DI値3.7）と前期比-6.0ポイントの「下落」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が-17.7ポイント、運輸・倉庫業-16.1ポイント、卸売業-7.4ポイント、建設業-6.4ポイント、サービス業-1.9ポイントの減少となっている。

また、次四半期予測DI値については▲2.5となっており、今期比で-0.2ポイントの「下落」予測となっている。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(21年10~12月期)実績					次四半期(22年1~3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	11.4	62.2	13.7	12.7	▲2.3	9.6	62.3	12.1	16.0	▲2.5
建設業	12.1	71.1	12.8	4.0	▲0.7	8.1	71.8	11.4	8.7	▲3.3
製造業	14.0	69.9	14.0	2.2	0.0	15.1	71.0	7.5	6.5	7.6
卸売業	11.9	58.7	26.6	2.8	▲14.7	10.1	61.5	22.9	5.5	▲12.8
小売業	11.4	68.4	15.2	5.1	▲3.8	12.7	60.8	17.7	8.9	▲5.0
運輸・倉庫業	7.1	39.3	10.7	42.9	▲3.6	14.3	28.6	10.7	46.4	3.6
サービス業	10.0	55.3	7.8	26.9	2.2	6.4	57.5	7.3	28.8	▲0.9
中小企業	11.4	62.1	13.5	13.0	▲2.1	9.9	62.1	11.7	16.3	▲1.8
大企業	10.5	63.2	18.4	7.9	▲7.9	5.3	65.8	18.4	10.5	▲13.1



#### 4. 受注価格、販売価格

《7期ぶりの改善、次期予測はさらに改善へ》

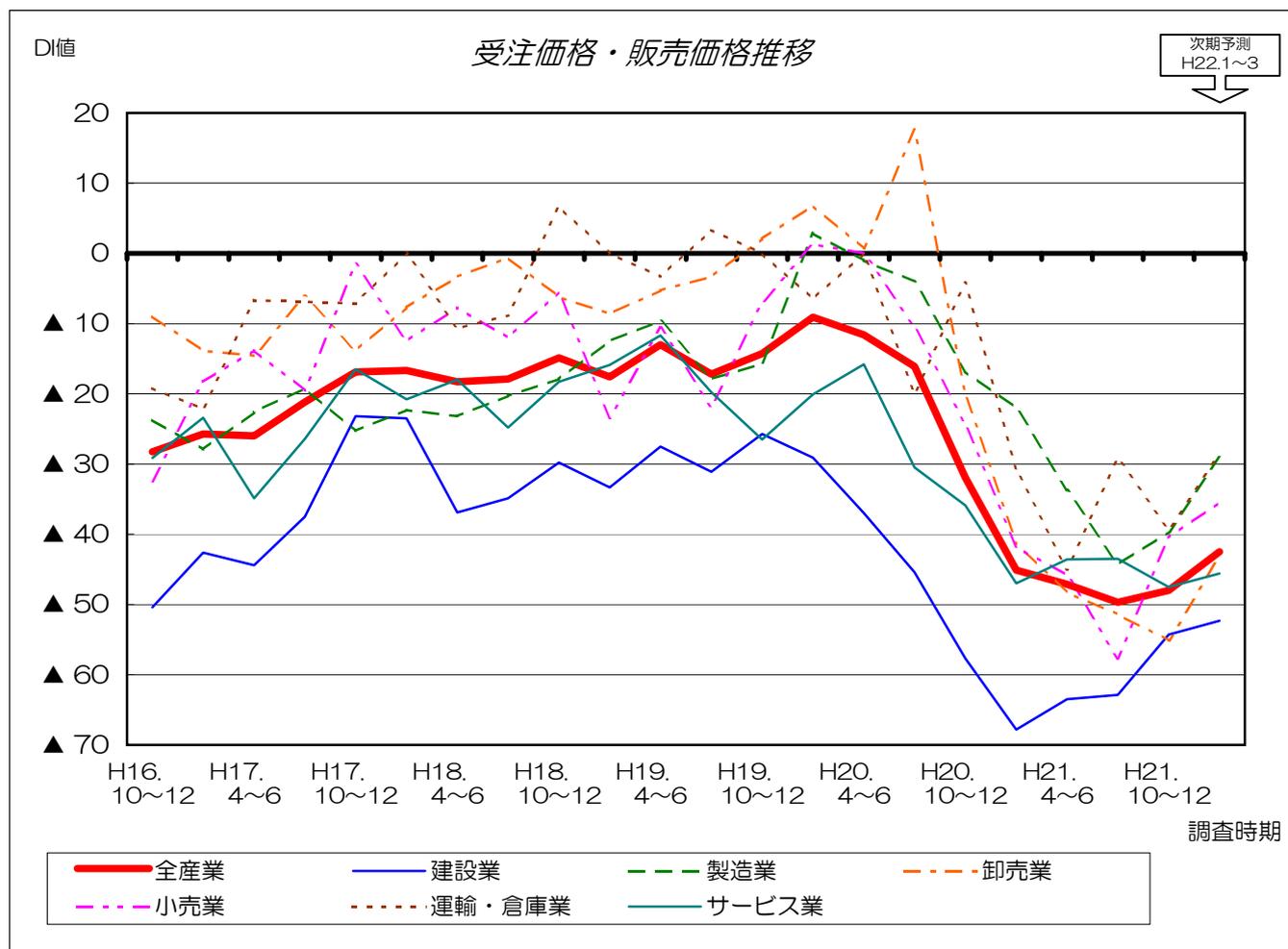
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は3.0%、「下落」と回答した企業割合は51.0%となっており、DI値は▲48.0（前期DI値▲49.7）と前期比+1.7ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が-10.1ポイント、サービス業-4.0ポイント、卸売業-3.7ポイントと悪化したものの、小売業+17.2ポイント、建設業+8.6ポイント、製造業+4.6ポイントの改善となった。

次四半期予測DI値については▲42.5となっており、今期比で+5.5ポイントの改善予測となっている。

《 受注価格、販売価格（前年同月と比較して） 》 (単位 %)

	今四半期(21年10~12月期)実績					次四半期(22年1~3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	3.0	41.7	51.0	4.4	▲48.0	2.8	42.7	45.3	9.2	▲42.5
建設業	2.7	38.9	57.0	1.3	▲54.3	2.7	36.2	55.0	6.0	▲52.3
製造業	2.2	53.8	41.9	2.2	▲39.7	3.2	57.0	32.3	7.5	▲29.1
卸売業	1.8	39.4	56.9	1.8	▲55.1	1.8	46.8	45.0	6.4	▲43.2
小売業	8.9	39.2	49.4	2.5	▲40.5	8.9	40.5	44.3	6.3	▲35.4
運輸・倉庫業	0.0	42.9	39.3	17.9	▲39.3	0.0	42.9	28.6	28.6	▲28.6
サービス業	2.3	40.2	49.8	7.8	▲47.5	1.4	39.7	47.0	11.9	▲45.6
中小企業	2.8	41.6	50.9	4.7	▲48.1	2.7	42.6	45.2	9.5	▲42.5
大企業	5.3	42.1	52.6	0.0	▲47.3	5.3	44.7	47.4	2.6	▲42.1



## 5. 製（商）品在庫

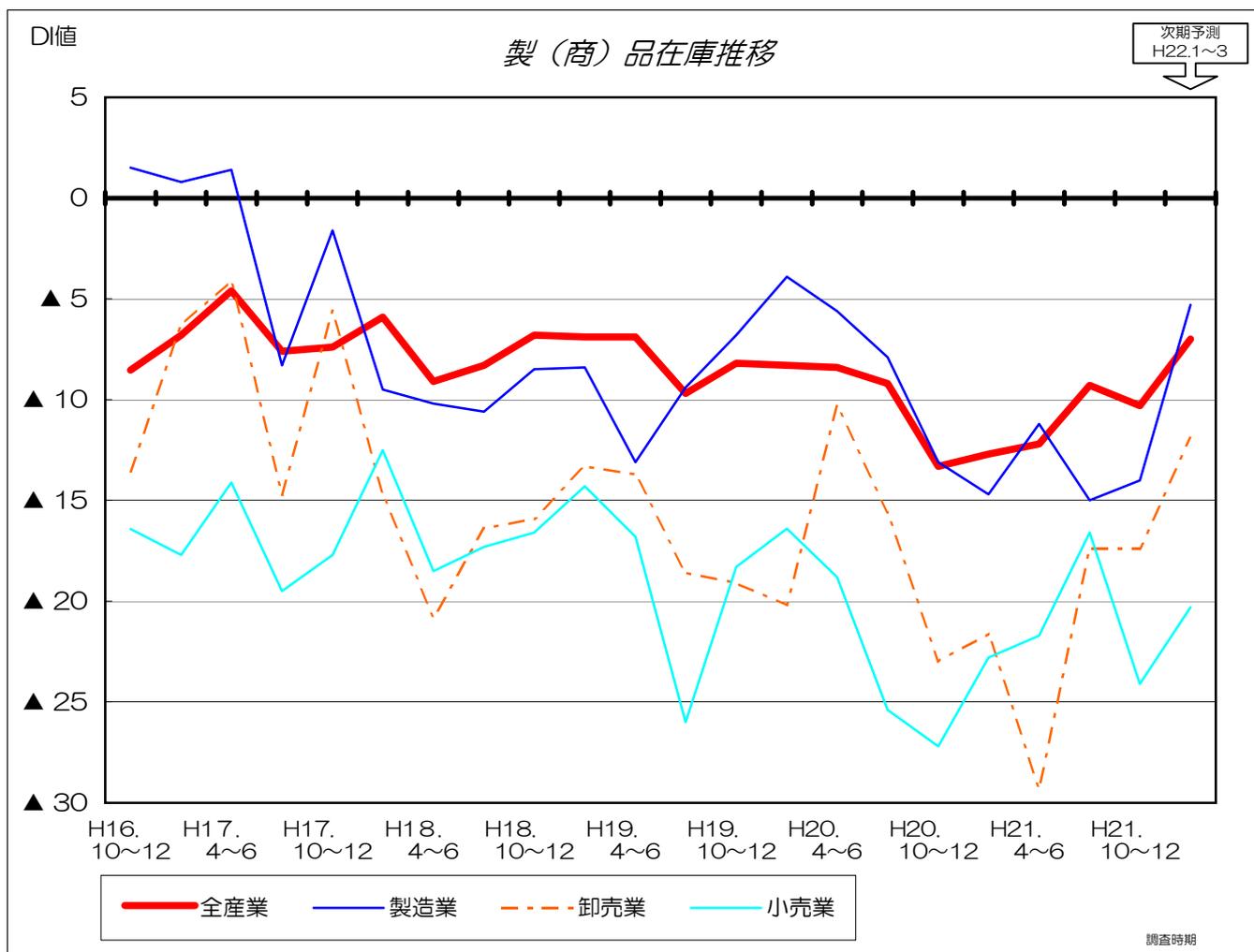
《4期ぶりの悪化、次期予測は反転改善へ》

製（商）品在庫は、「適正」と回答した企業割合は57.5%、「不足」と回答した企業割合は1.8%、「過剰」と回答した企業割合は12.1%となっており、DI値は▲10.3（前期DI値▲9.3）と前期比-1.0ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については▲7.0となっており、今期比で+3.3ポイントの改善が予測されている。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》（単位 %）

	今四半期(21年10~12月期)実績					次四半期(22年1~3月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	1.8	57.5	12.1	28.7	▲10.3	1.9	58.2	8.9	31.0	▲7.0
建設業	0.7	51.7	3.4	44.3	▲2.7	0.7	51.7	1.3	46.3	▲0.6
製造業	1.1	80.6	15.1	3.2	▲14.0	2.2	81.7	7.5	8.6	▲5.3
卸売業	3.7	68.8	21.1	6.4	▲17.4	2.8	73.4	14.7	9.2	▲11.9
小売業	2.5	67.1	26.6	3.8	▲24.1	3.8	65.8	24.1	6.3	▲20.3
運輸・倉庫業	0.0	7.1	10.7	82.1	▲10.7	0.0	10.7	7.1	82.1	▲7.1
サービス業	1.8	48.9	7.3	42.0	▲5.5	1.8	48.4	6.4	43.4	▲4.6
中小企業	1.9	56.5	12.5	29.1	▲10.6	2.0	57.4	9.1	31.5	▲7.1
大企業	0.0	73.7	5.3	21.1	▲5.3	0.0	71.1	5.3	23.7	▲5.3



## 6. 営業利益

《3期連続改善、次期予測はさらに改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は11.5%、「減少した」と回答した企業割合は59.7%、「横ばい」と回答した企業割合は26.1%となり、DI値は▲48.2（前期DI値▲53.2）と前期比+5.0ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が-0.2ポイント（前期DI値▲51.4）と悪化したものの、建設業+13.4ポイント（同▲65.7）、卸売業+9.1ポイント（同▲47.7）、運輸・倉庫業+3.6ポイント（同▲50.0）、小売業+1.9ポイント（同▲43.6）、サービス業+1.7ポイント（同▲52.8）と改善した。

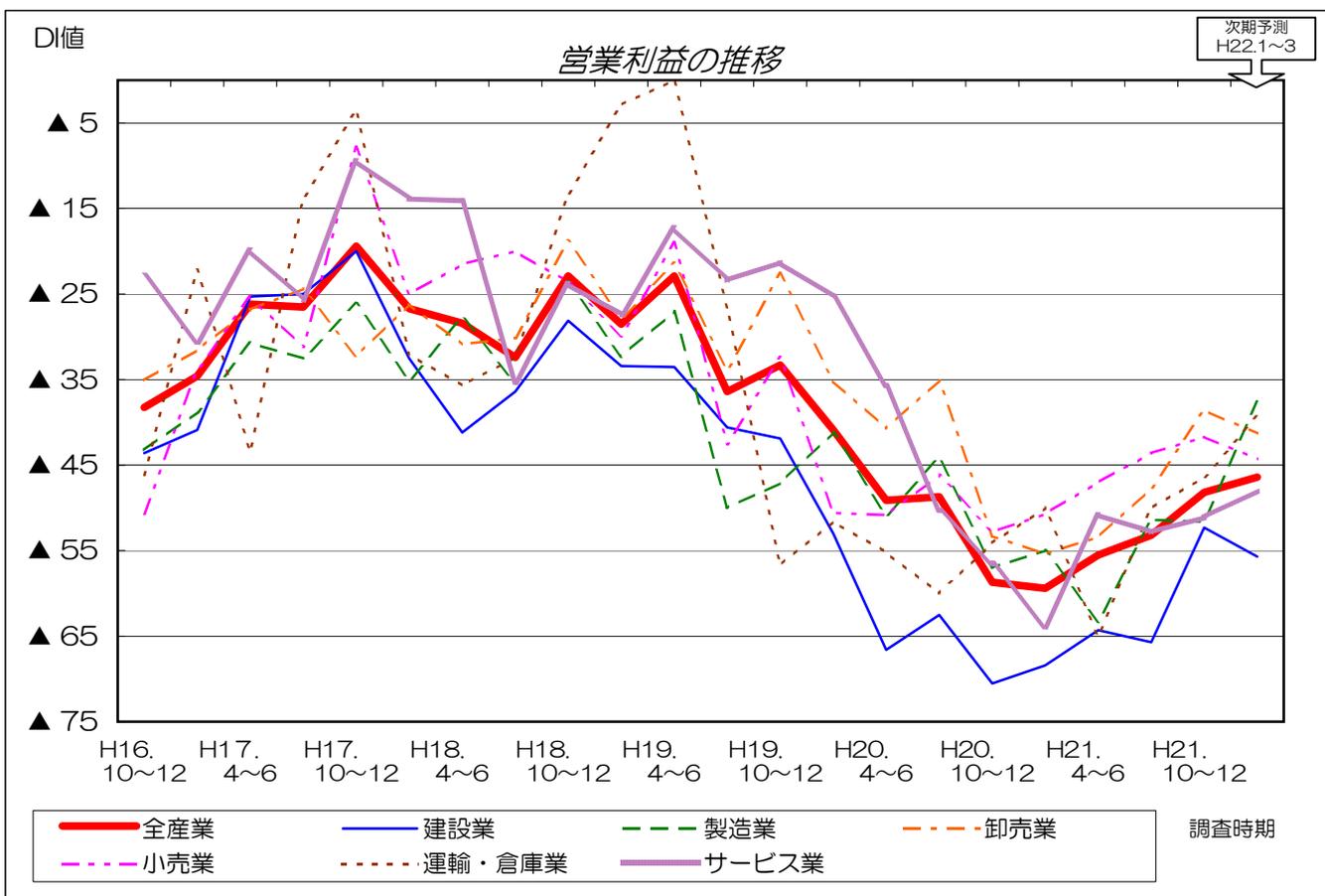
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+5.9ポイント（前期DI値▲55.7）と改善した一方、大企業は前期比-6.4ポイント（同▲14.7）と悪化した。

次四半期予測DI値については▲46.4となっており、今期比で+1.8ポイントの改善が予測されている。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(21年10~12月期)実績					次四半期(22年1~3月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	11.5	26.1	59.7	2.7	▲48.2	8.1	29.8	54.5	7.5	▲46.4
建設業	10.1	27.5	62.4	0.0	▲52.3	6.0	26.2	61.7	6.0	▲55.7
製造業	12.9	21.5	64.5	1.1	▲51.6	9.7	35.5	47.3	7.5	▲37.6
卸売業	12.8	33.0	51.4	2.8	▲38.6	9.2	34.9	50.5	5.5	▲41.3
小売業	16.5	24.1	58.2	1.3	▲41.7	13.9	21.5	58.2	6.3	▲44.3
運輸・倉庫業	10.7	25.0	57.1	7.1	▲46.4	3.6	35.7	42.9	17.9	▲39.3
サービス業	9.6	24.7	60.7	5.0	▲51.1	6.8	29.7	54.8	8.7	▲48.0
中小企業	10.5	26.4	60.3	2.8	▲49.8	7.4	29.3	55.6	7.8	▲48.2
大企業	28.9	21.1	50.0	0.0	▲21.1	21.1	39.5	36.8	2.6	▲15.7



## 7. 売掛期間

《3期連続悪化、次期予測はさらに悪化へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は1.5%、「長期化」と回答した企業割合は12.1%、「不変」と回答した企業割合は82.6%となっており、DI値は▲10.6（前期DI値▲10.0）と前期比-0.6ポイントの悪化となった。

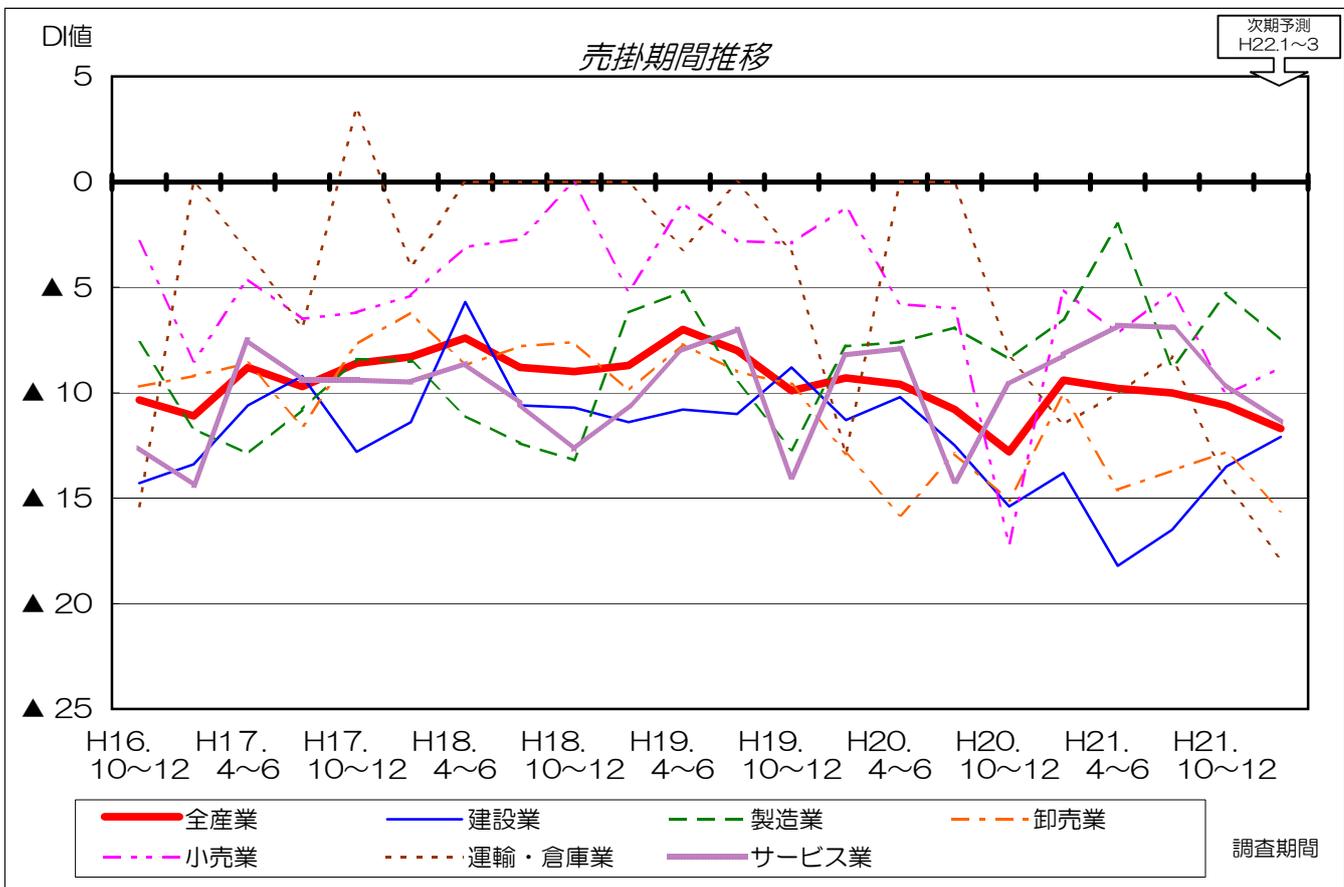
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-0.8ポイント（前期DI値▲10.2）と悪化した一方、大企業は前期比+2.0ポイント（同▲7.3）と改善した。

次四半期予測DI値については▲11.7となっており、今期比で-1.1ポイントの悪化が予測されている。

《 売掛期間(前年同期と比較して)》

(単位 %)

	今四半期(21年10~12月期)実績					次四半期(22年1~3月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値
全業種	1.5	82.6	12.1	3.8	▲10.6	0.7	79.0	12.4	7.8	▲11.7
建設業	1.3	81.2	14.8	2.7	▲13.5	0.7	78.5	12.8	8.1	▲12.1
製造業	2.2	89.2	7.5	1.1	▲5.3	1.1	83.9	8.6	6.5	▲7.5
卸売業	2.8	79.8	15.6	1.8	▲12.8	1.8	76.1	17.4	4.6	▲15.6
小売業	1.3	83.5	11.4	3.8	▲10.1	1.3	82.3	10.1	6.3	▲8.8
運輸・倉庫業	0.0	85.7	14.3	0.0	▲14.3	0.0	71.4	17.9	10.7	▲17.9
サービス業	0.9	81.3	10.5	7.3	▲9.6	0.0	78.5	11.4	10.0	▲11.4
中小企業	1.4	82.2	12.4	4.1	▲11.0	0.6	78.6	12.7	8.1	▲12.1
大企業	2.6	89.5	7.9	0.0	▲5.3	2.6	86.8	7.9	2.6	▲5.3



## 8. 資金繰り

《4期ぶりの悪化、次期予測はさらに悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は4.6%、「苦しい」と回答した企業は36.5%、「不変」と回答した企業は56.3%となっており、DI値は▲31.9（前期DI値▲31.1）と前期比-0.8ポイントの悪化となった。

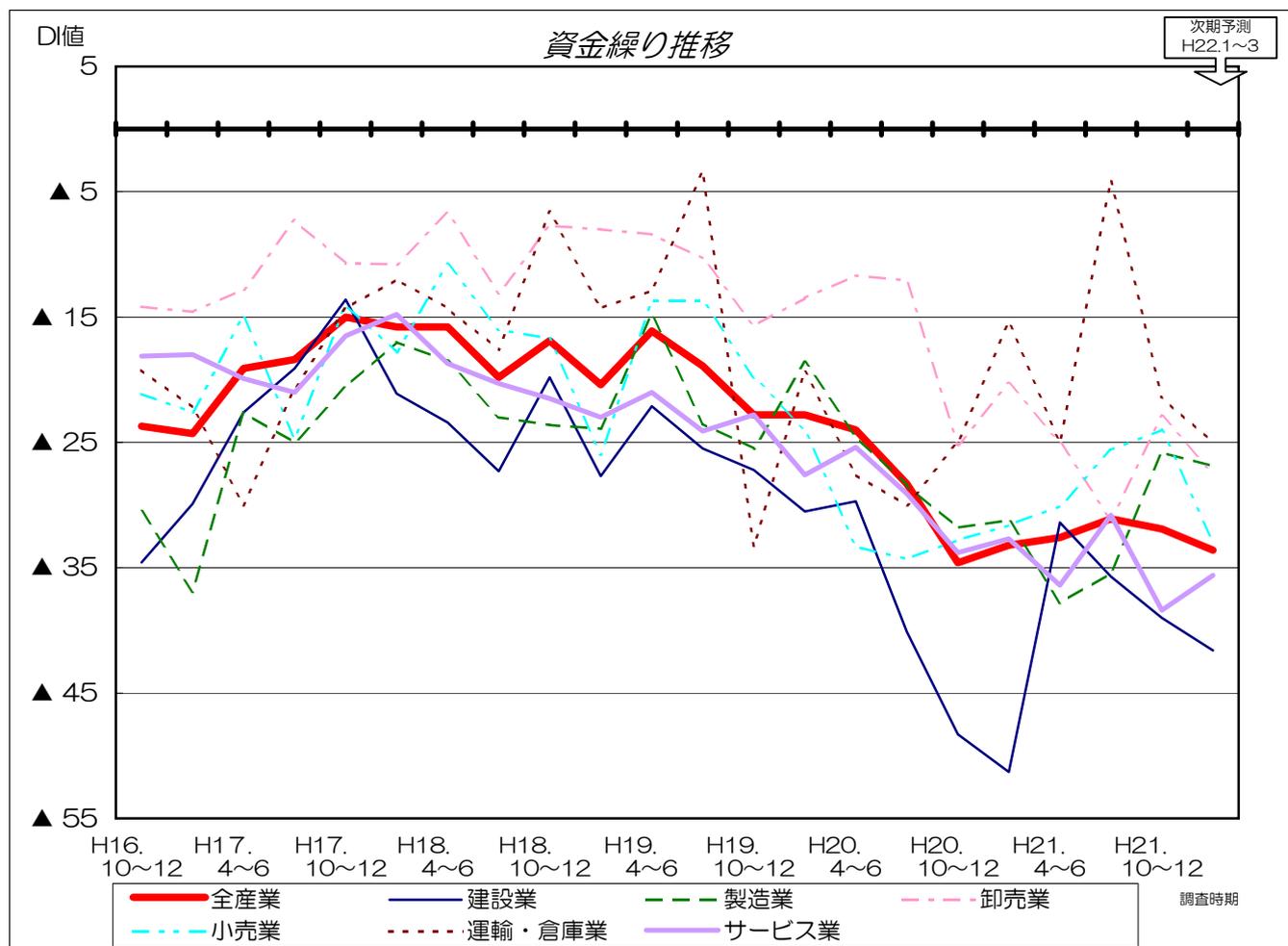
業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が+9.6ポイント、卸売業+8.3ポイント、小売業+1.6ポイントと改善したものの、運輸・倉庫業-17.3ポイント、サービス業-7.6ポイント、建設業-3.3ポイントの悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-0.4ポイント（前期DI値▲32.9）、大企業は前期比-5.4ポイント（同▲2.5）の悪化となった。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(21年10~12月期)実績					次四半期(22年1~3月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	4.6	56.3	36.5	2.7	▲31.9	2.7	54.1	36.3	6.9	▲33.6
建設業	4.0	52.3	43.0	0.7	▲39.0	2.0	47.0	43.6	7.4	▲41.6
製造業	5.4	63.4	31.2	0.0	▲25.8	4.3	57.0	31.2	7.5	▲26.9
卸売業	9.2	56.9	32.1	1.8	▲22.9	5.5	56.9	33.0	4.6	▲27.5
小売業	3.8	60.8	27.8	7.6	▲24.0	1.3	57.0	34.2	7.6	▲32.9
運輸・倉庫業	0.0	78.6	21.4	0.0	▲21.4	0.0	64.3	25.0	10.7	▲25.0
サービス業	3.2	51.1	41.6	4.1	▲38.4	1.8	53.9	37.4	6.8	▲35.6
中小企業	4.9	54.1	38.2	2.8	▲33.3	2.8	52.1	37.9	7.2	▲35.1
大企業	0.0	92.1	7.9	0.0	▲7.9	0.0	86.8	10.5	2.6	▲10.5



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は50.7%（前期44.9%）と前期比で5.8%の増加となった。一方で、「行っていない」とする企業は47.6%（前期52.5%）と前期比で4.9%の減少となった。

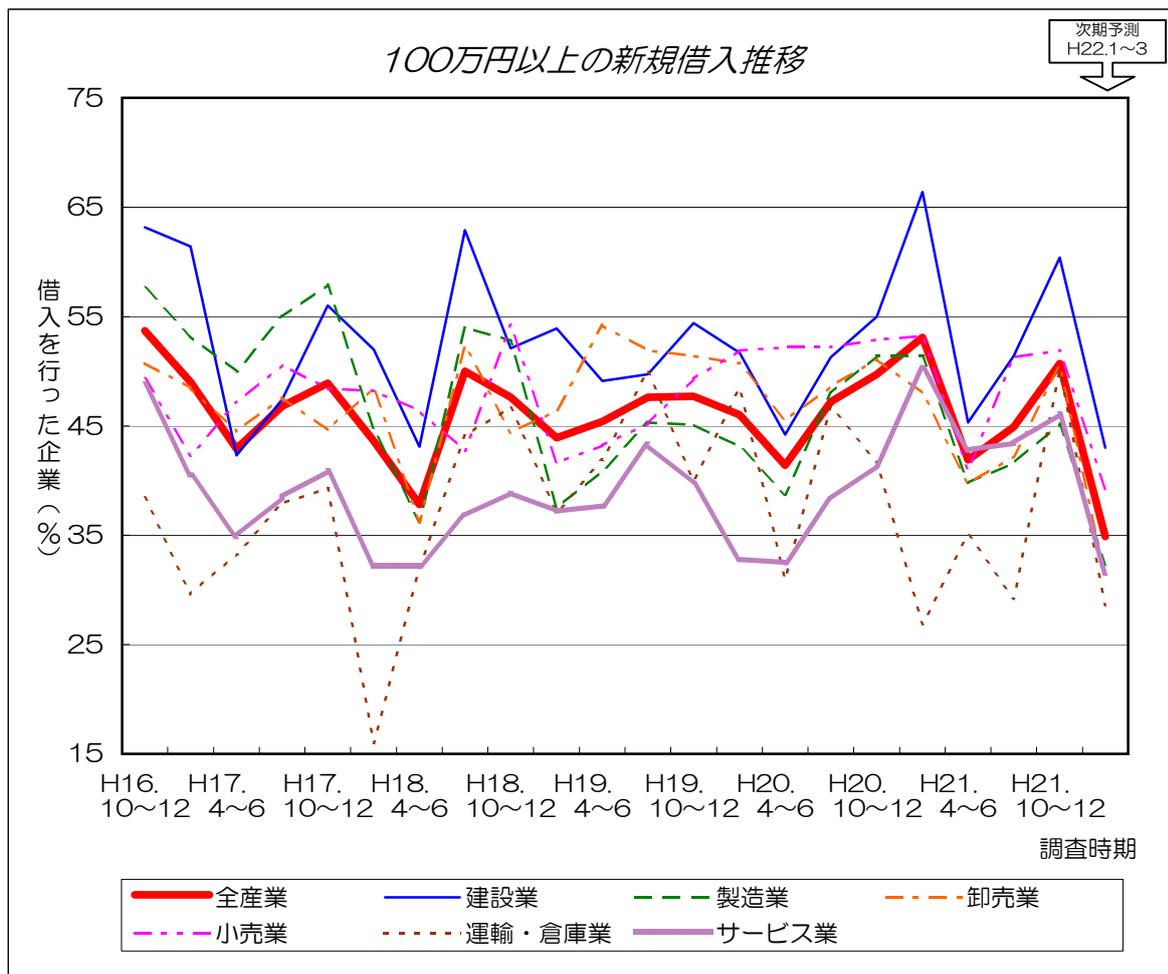
資金使途については、「運転」75.2%、「運転・設備」13.7%、「設備」5.5%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は34.9%、「行わない」とする企業は59.4%となっている。

《 100万円以上の新規借入 》

（単位 %）

	今四半期(21年10~12月期)実績			次四半期(22年1~3月期)予測		
	行った	行っていない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	50.7	47.6	1.8	34.9	59.4	5.8
建設業	60.4	38.9	0.7	43.0	51.7	5.4
製造業	45.2	50.5	4.3	32.3	59.1	8.6
卸売業	50.5	48.6	0.9	31.2	64.2	4.6
小売業	51.9	45.6	2.5	39.2	57.0	3.8
運輸・倉庫業	50.0	46.4	3.6	28.6	67.9	3.6
サービス業	46.1	52.5	1.4	31.5	62.1	6.4
中小企業	49.9	48.5	1.6	33.5	60.7	5.8
大企業	63.2	31.6	5.3	57.9	36.8	5.3



# 100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	75.2	13.7	5.5	5.5	73.7	12.3	8.9	5.1
建設業	85.6	5.6	2.2	6.7	84.4	4.7	3.1	7.8
製造業	71.4	16.7	4.8	7.1	76.7	13.3	6.7	3.3
卸売業	81.8	12.7	1.8	3.6	73.5	14.7	11.8	0.0
小売業	65.9	24.4	7.3	2.4	58.1	25.8	9.7	6.5
運輸・倉庫業	71.4	7.1	21.4	0.0	62.5	0.0	25.0	12.5
サービス業	68.3	16.8	7.9	6.9	71.0	13.0	11.6	4.3
中小企業	77.7	11.6	4.7	6.0	78.0	8.9	7.9	5.1
大企業	41.7	41.7	16.7	0.0	31.8	45.5	18.2	4.5

## 10. 100万円以上の設備投資

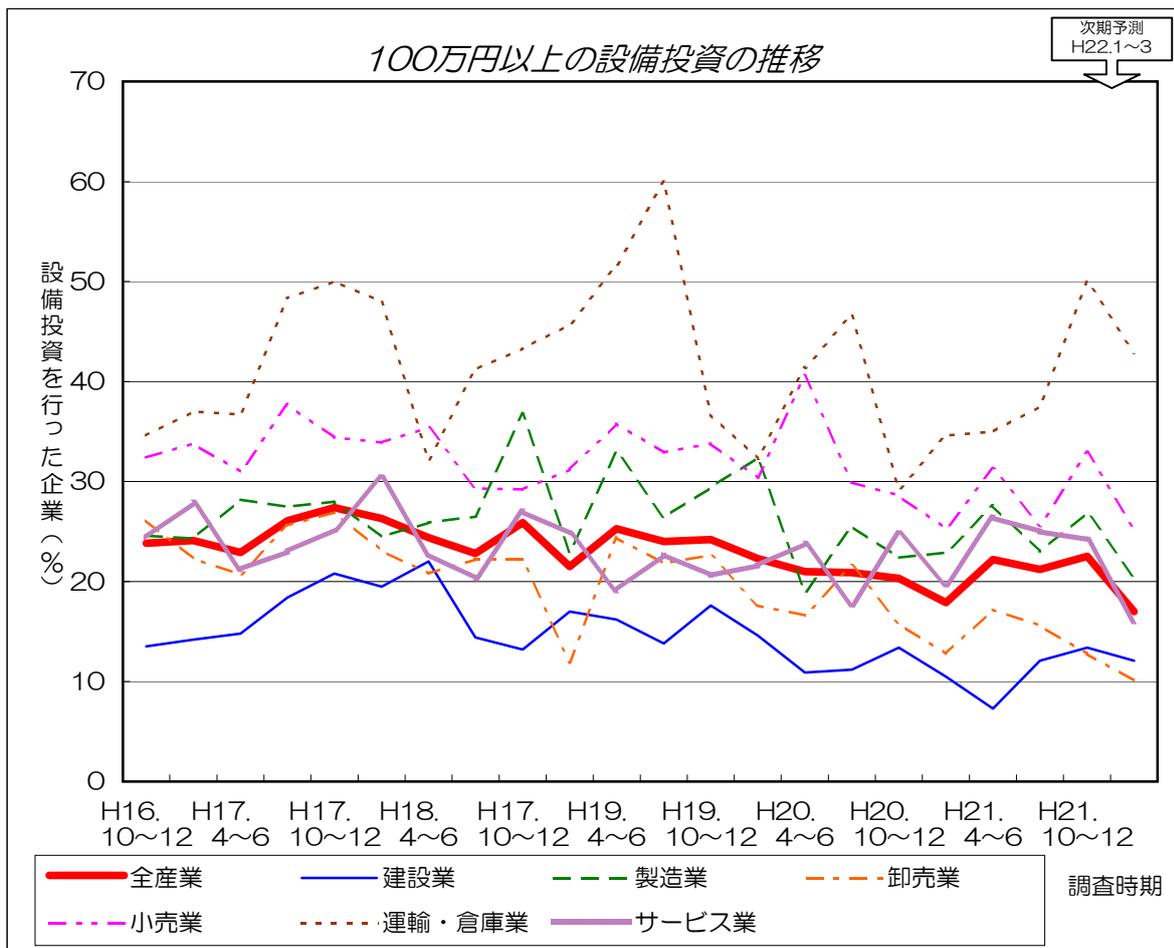
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は22.5%、「行ってない」とする企業は73.9%となっており、その投資内容については、「新規」28.9%、「新規・更新」28.9%、「更新」33.6%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は17.0%、「行わない」とする企業は75.2%であり、その投資内容については、「新規」25.2%、「新規・更新」35.7%、「更新」36.5%となっている。

《 100万円以上の設備投資 》

(単位 %)

	今四半期(21年10~12月期)実績			次四半期(22年1~3月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	22.5	73.9	3.7	17.0	75.2	7.8
建設業	13.4	84.6	2.0	12.1	81.2	6.7
製造業	26.9	68.8	4.3	20.4	68.8	10.8
卸売業	12.8	85.3	1.8	10.1	85.3	4.6
小売業	32.9	64.6	2.5	25.3	69.6	5.1
運輸・倉庫業	50.0	46.4	3.6	42.9	50.0	7.1
サービス業	24.2	69.9	5.9	16.0	74.0	10.0
中小企業	19.6	76.7	3.8	13.9	77.9	8.1
大企業	71.1	26.3	2.6	68.4	28.9	2.6



# 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	28.9	28.9	33.6	8.6	25.2	35.7	36.5	2.6
建設業	45.0	20.0	25.0	10.0	38.9	22.2	33.3	5.6
製造業	32.0	32.0	28.0	8.0	31.6	36.8	31.6	0.0
卸売業	28.6	35.7	28.6	7.1	18.2	54.5	27.3	0.0
小売業	15.4	34.6	34.6	15.4	25.0	40.0	25.0	10.0
運輸・倉庫業	7.1	21.4	57.1	14.3	8.3	33.3	58.3	0.0
サービス業	34.0	28.3	34.0	3.8	22.9	34.3	42.9	0.0
中小企業	32.8	24.0	33.6	9.6	30.3	29.2	38.2	2.2
大企業	11.1	51.9	33.3	3.7	7.7	57.7	30.8	3.8

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」66.2%、「受注、販売競争の激化」60.3%、「営業利益の低下」53.8%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で22.0%に対し48.3%、「元請の減少」が全業種で9.0%に対し28.9%、また卸売業では「販売代金の回収難、不良債権の増加」が全業種で9.3%に対し26.6%と突出し、非常に高水準となっているのが特徴である。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

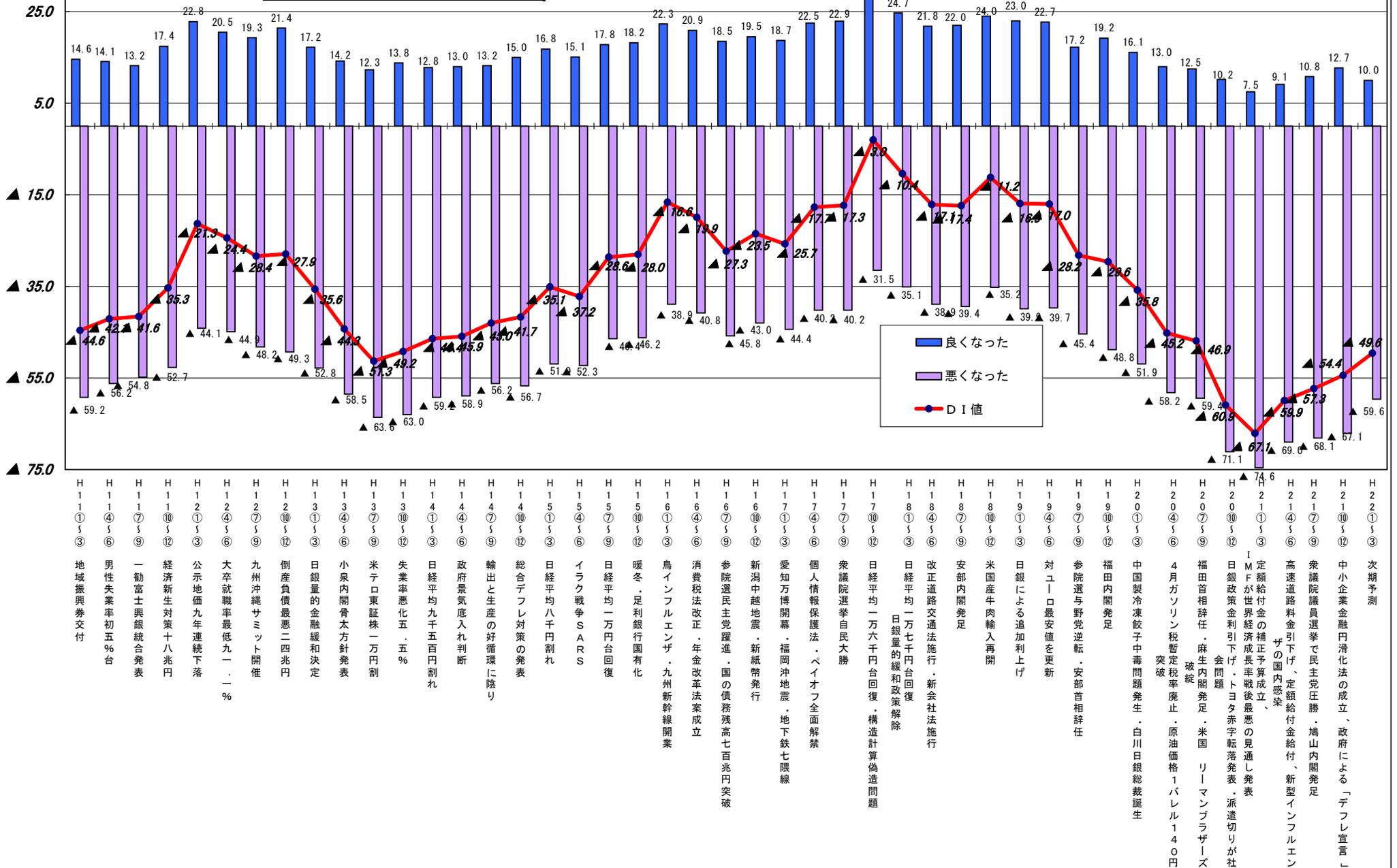
(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注激化、販売競争	び額売、上額、工事高の伸び	出店、業者、大型店の進	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷下、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、売代金の回収	化売、掛金の長期
全業種	60.3	66.2	11.5	22.0	1.0	9.0	7.7	5.2	19.9	3.7	18.3	9.3	6.8
建設業	74.5	75.2	9.4	48.3	0.0	28.9	8.7	4.7	10.1	1.3	12.8	6.7	8.1
製造業	57.0	67.7	6.5	14.0	2.2	2.2	14.0	12.9	26.9	3.2	24.7	4.3	3.2
卸売業	61.5	56.9	8.3	20.2	2.8	2.8	6.4	2.8	37.6	10.1	31.2	26.6	11.0
小売業	51.9	59.5	25.3	5.1	1.3	0.0	0.0	3.8	19.0	6.3	20.3	5.1	5.1
運輸・倉庫業	39.3	78.6	7.1	14.3	3.6	7.1	10.7	3.6	21.4	0.0	14.3	7.1	0.0
サービス業	57.1	64.8	12.3	15.5	0.0	5.0	7.3	4.1	15.1	1.8	12.8	6.4	6.8
中小企業	59.3	66.0	11.0	22.7	1.1	9.4	8.0	5.5	20.5	3.9	18.3	9.5	7.0
大企業	76.3	68.4	21.1	10.5	0.0	2.6	2.6	0.0	10.5	0.0	18.4	5.3	2.6

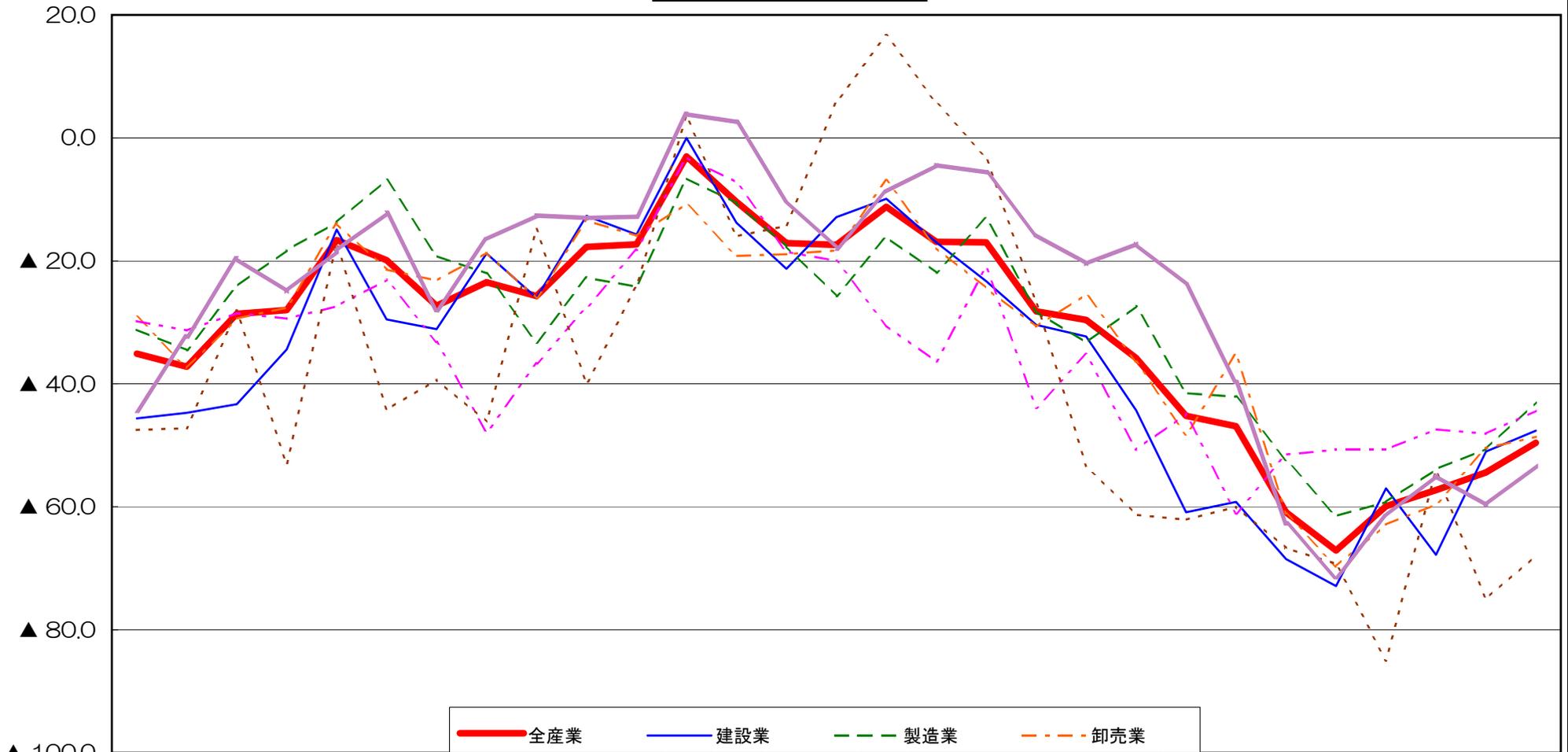
問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、駐工場用地狭	代化、舗、老朽化、設備過	店剩、舗、設の値上	が家賃地代の値上	化難人、材定着、性の悪	費人手過剩、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他
全業種	14.9	53.8	1.0	5.3	0.7	10.0	9.2	2.8	12.1	8.1	3.5	1.0	2.7
建設業	12.1	59.1	0.0	0.7	0.0	9.4	5.4	0.7	14.8	12.8	3.4	0.0	1.3
製造業	10.8	49.5	2.2	5.4	0.0	5.4	10.8	2.2	12.9	7.5	3.2	2.2	2.2
卸売業	14.7	50.5	1.8	1.8	0.9	8.3	3.7	2.8	8.3	7.3	2.8	0.9	3.7
小売業	19.0	55.7	3.8	10.1	0.0	7.6	15.2	2.5	8.9	5.1	1.3	2.5	3.8
運輸・倉庫業	10.7	42.9	0.0	7.1	0.0	10.7	10.7	10.7	3.6	0.0	3.6	3.6	3.6
サービス業	17.8	54.3	0.0	8.2	1.8	14.2	11.4	3.7	14.2	7.8	5.0	0.5	2.7
中小企業	14.9	54.1	1.1	4.9	0.8	9.9	9.1	2.5	12.5	8.3	3.8	0.9	2.8
大企業	15.8	47.4	0.0	13.2	0.0	13.2	10.5	7.9	5.3	5.3	0.0	2.6	0.0

自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

自社業況DI値の推移



### 自社業況DI値の推移



— 全産業     
 — 建設業     
 - - - 製造業     
 - - - 卸売業

	H15.1~3	H15.4~6	H15.7~9	H15.10~12	H16.1~3	H16.4~6	H16.7~9	H16.10~12	H17.1~3	H17.4~6	H17.7~9	H17.10~12	H18.1~3	H18.4~6	H18.7~9	H18.10~12	H19.1~3	H19.4~6	H19.7~9	H19.10~12	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3
全産業	▲ 35.1	▲ 37.2	▲ 28.6	▲ 28.0	▲ 16.6	▲ 19.9	▲ 27.3	▲ 23.5	▲ 25.7	▲ 17.7	▲ 17.3	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 17.1	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 16.9	▲ 17.0	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 35.8	▲ 45.2	▲ 46.9	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4	▲ 49.6
建設業	▲ 45.6	▲ 44.7	▲ 43.3	▲ 34.4	▲ 14.9	▲ 29.5	▲ 31.1	▲ 18.8	▲ 26.0	▲ 12.7	▲ 15.7	▲ 0.0	▲ 13.8	▲ 21.3	▲ 12.9	▲ 9.9	▲ 17.0	▲ 23.3	▲ 30.4	▲ 32.3	▲ 44.3	▲ 60.9	▲ 59.2	▲ 68.5	▲ 72.9	▲ 57.0	▲ 67.8	▲ 51.0	▲ 47.6
製造業	▲ 31.2	▲ 34.5	▲ 24.1	▲ 18.3	▲ 13.7	▲ 6.8	▲ 19.2	▲ 22.0	▲ 33.3	▲ 22.7	▲ 24.2	▲ 6.6	▲ 10.6	▲ 17.6	▲ 25.7	▲ 16.1	▲ 21.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 33.3	▲ 27.4	▲ 41.5	▲ 42.1	▲ 52.4	▲ 61.5	▲ 59.2	▲ 53.9	▲ 50.6	▲ 43.0
卸売業	▲ 29.1	▲ 37.4	▲ 29.4	▲ 27.6	▲ 13.9	▲ 21.4	▲ 23.2	▲ 18.7	▲ 26.1	▲ 13.4	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 19.2	▲ 18.9	▲ 18.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 24.4	▲ 30.7	▲ 25.4	▲ 36.4	▲ 48.3	▲ 35.1	▲ 61.1	▲ 69.7	▲ 62.9	▲ 59.6	▲ 50.5	▲ 48.6
小売業	▲ 29.8	▲ 31.3	▲ 28.5	▲ 29.4	▲ 27.4	▲ 23.1	▲ 33.2	▲ 47.9	▲ 36.7	▲ 27.6	▲ 18.2	▲ 3.2	▲ 7.2	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 30.5	▲ 36.4	▲ 21.0	▲ 43.9	▲ 35.2	▲ 50.7	▲ 44.9	▲ 61.1	▲ 51.5	▲ 50.7	▲ 50.7	▲ 47.4	▲ 48.1	▲ 44.4
運輸・倉庫業	▲ 47.5	▲ 47.2	▲ 28.1	▲ 53.1	▲ 17.1	▲ 44.2	▲ 39.3	▲ 46.2	▲ 14.8	▲ 40.0	▲ 24.1	3.6	▲ 16.0	▲ 14.3	5.9	16.7	5.7	▲ 3.2	▲ 26.7	▲ 53.3	▲ 61.3	▲ 62.1	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 69.3	▲ 85.0	▲ 54.1	▲ 75.0	▲ 67.9
サービス業	▲ 44.4	▲ 32.3	▲ 19.6	▲ 25.0	▲ 18.4	▲ 12.2	▲ 28.0	▲ 16.5	▲ 12.6	▲ 13.0	▲ 12.8	3.9	2.6	▲ 10.1	▲ 18.0	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 15.7	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 23.9	▲ 39.7	▲ 62.7	▲ 71.4	▲ 61.6	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 53.3